



第3学年 学級活動學習指導案

指導者 教諭 ○○ ○○

1 題材名 きゅうきゅう車はなぜいそぐ？

2 題材について

本題材は「心身ともに健康で安全な生活態度の形成」に関わる内容である。昨年度、子どもたちは「生きているしをさがせ！」という学級活動を行った。心臓の動きと息（呼吸）は、生きている証であることを理解し、自他の命がかけがえのないものであることを学んだ。

3年生の社会科では、地域の安全を守る働きについて学ぶ。緊急時には、消防署や警察署等の関係機関が、通信指令室等を中心に連携し、状況に応じて迅速かつ確実に事態に対処することを理解している。本時では社会科での学びを深め、救急車はサイレンを鳴らしながら赤信号も無視して走行する理由を考える。人の命を守る地域のしくみを具体的に理解させるため、学校の校庭で発生した命の危機が迫る緊急時の学校、消防、病院の連携について学び、自分たちにできること（急いで先生を呼ぶなど）があることを知り、行動しようとする気持ちを持つことができるよう本題材を設定した。

3 本題材のねらい

○ 人の命を守る地域のしくみを学校の校庭で発生した具体的な事例をもとに考え、理解させるとともに、自分たちにできることについて考え、行動しようとする意識を高められるようにする。

4 学級活動（2）の評価規準

よりよい生活を築くための知識・技能	集団や社会の形成者としての思考・判断・表現	主体的に生活や人間関係をよりよくしようとする態度
人の命を守る地域のしくみ（消防署、119番、救急車等）について理解している。	学校の校庭で発生したけがに対して、自分たちにできることは何かを考えている。	学校の校庭で転倒した児童がいたとき、駆け寄り声を掛けるなど、相手を思いやる気持ちで行動しようとしている。

5 指導計画

過程	期日	活動の場	活動内容
事前	昨年○月 ○月○日	学級活動 社会	<ul style="list-style-type: none">○ 「生きているしをさがせ！」をテーマに、心臓と呼吸には命に関わる大切な働きがあることを学んだ。○ 社会科「くらしを守る」において、地域の安全を守るための体制があることを学んだ。
	○月○日 学級活動		<ul style="list-style-type: none">○ 消防署（119番通報、救急車など）、病院など人の命を守る地域のしくみを理解するとともに、学校の校庭で発生した命の危機が迫る緊急時における自分たちにできること（急いで学校の先生を呼ぶ）があると知り、行動しようとする意識を高められるようにする。
事後	授業後1週間	家庭	<ul style="list-style-type: none">○ ワークシートを持ち帰り、授業で学んだことを家族に伝える。

6 本時の指導

（1）目標

- 人の命を守る地域のしくみについて理解できるようにする。 (知識・技能)
- 学校の校庭で発生したけがに対して、自分たちにできることは何かを考えられるようにする (思考・判断・表現)
- 学校の校庭で転倒した児童がいたとき、駆け寄り声を掛けるなど、相手を思いやる気持ちで行動できるようにする。 (態度)

(2) 展開

時間	学習活動	○指導上の留意点 (評) 評価
導入 5分	<p>1 【音あてクイズ】 パトカー、消防車、救急車のサイレンを聞かせ、どの緊急車両か予想する。</p> <p>2 「ミスターQからの手紙」で課題を把握する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">きゅうきゅう車はなぜいそぐ？</div>	<p>○パワーポイントを使用し、聴覚的にも興味を持って取り組めるようにする。</p> <p>○「ミスターQからの手紙」を聞かせ、課題に興味をもって取り組めるようにする。</p>
展開 30分	<p>3 救急車の特性について知る。</p> <p>(1)救急車は、どうしてサイレンを鳴らしながら走るのかについて考え、共有する。 (予想される反応) ・早く病院に連れていくため。 ・他の車に道を空けてもらうため。 ・目立つため。</p> <p>(2)救急車を要請する電話番号、及び 119 番通報してから救急車が到着するまでにかかる時間を知る。</p>	<p>○救急車は人の命を救うため、急いで病院まで行くことが仕事である。本来、道路で赤信号を無視して走行するなどは危険である。救急車は、安全に走るために、サイレンを鳴らし、赤色灯をつけるなど目立つことで、まわりの車に注意喚起していると伝える。</p> <p>○救急車の要請は「119」であると伝える。 パトカーの要請は「110」であることも確認する。 ※ 119番通報をすると、消防署の通信指令員につながること、口頭指導を受けられることを伝えてよい。</p> <p>○119番通報してから救急車が到着するまでの時間は、全国平均「8~9分（8.7分）」と伝える。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; text-align: center;">(評) 人の命を守る地域のしくみ（消防署、119番、救急車等）について理解している。 【知識・技能】（観察）</div>
	<p>4 学校の校庭で遊んでいたとき、友だちが倒れた状況を描いた3つのイラストを見せ、班毎に自分のとるべき行動について話し合い、みんなで共有する。</p> <p>(1)倒れた後、すぐに起き上がることができた。よく見ると手足にすり傷があった。 歩行可能である。</p>  <p>(2)痛がっていて動けない。</p> 	<p>○パワーポイントを使用し、3つのイラストを提示する。3つの状況が比較できるように、3つのイラストを同時に提示する。</p> <p>○(1)～(3)の3つの状況における「自分にできること」の概要は、下記となる。</p> <p>(1)歩行可能であり、保健室まで一緒に連れて行く。 (2)動けないため、先生を呼びに行く。 (3)呼びかけても返事がないときは心停止を想定し、急いで先生を呼ぶ。</p>

	<p>(3)呼びかけても返事がない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○「呼びかけても返事（反応）がない」ときは119番通報が必要であることを導く。 また、倒れた人がいたら「大丈夫？」と声を掛けることの大切さに気づかせる。 ※「呼びかけても返事（反応）がない」ときだけ、119番通報をしてもよいとの印象を与えないように説明する。 ※（1）（2）の状況でも、他の要因で119番通報が必要なときもあると説明する（例：骨折、頭部・胸部・腹部外傷など）。 ※（3）のイラストでは、顔色が青白くなっていること（心停止）に着目した説明をしてよい。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(評) 学校の校庭で発生したけがに対して、自分たちにできることは何かを考えている。</p> <p>【思考・判断・表現】 (ワークシート)</p> </div>
まとめ 10分	<p>5 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域における人の命を守るしくみについて再度伝える（消防署、救急車、119番通報など）。 ・人の命に関わるけがのときは、119番通報が必要なことを説明する。特に、呼びかけても返事がないときは、すぐに119番通報が必要であることを再確認する。 ※子どもの行動としては「大人を呼ぶ」となります。 ・友だちが転倒したとき、どんなことができるか考える。 <p>6 「ミスターQからの手紙」を聞き、分かったことや感想をワークシートに記入し、発表する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○救急車についてキーワードを確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時にはサイレンと赤色灯をつけて急いで病院へ搬送していること。 ・救急車を要請する電話番号は119番で、到着までには8.7分かかること。 ・救急車は限りある地域の資源であり、適正利用を心がける必要があること。 ・人が急に倒れた時は心停止の恐れがあり、いち早く大人に知らせて119番する必要があること。 ・友だちが転倒したとき、駆け寄り「大丈夫？」と声を掛ける、手を差し伸べるなど、友だちを思いやる行動が大切であると伝える。 ○「ミスターQからの手紙」を読み、校庭で転倒した友だちがいたときに相手を思いやる行動がとれるよう助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>(評) 学校の校庭で転倒した児童がいたとき、駆け寄り声を掛けるなど、相手を思いやり行動しようとしている。</p> <p>【態度】 (ワークシート)</p> </div>

(3) 資料等

- パワーポイント（緊急車両の音あてクイズ・通信指令室の写真・ミスターQからの手紙を含む）
- ミスターQからの手紙
- ワークシート

3年生での指導について、以下のような想いで内容を構成しました。指導の際には参考にしていただけますと幸いです。

- ・児童に救急車の大切さについて理解を深めて欲しい。
- ・友だちが急に倒れたとき、自分でできる行動を知り、思いやりをもって行動しようとする気持ちを持って欲しい。

また、実践後のご意見、ご感想等をぜひお聞かせいただきたく、QRコードもしくはURLよりアンケートのご協力をお願ひいたします。

URL <https://forms.gle/2xUW6vdGJ54xAbB58>



2021 Team いばらき 発達段階に応じた救命教育プロジェクト

ミスターQからの手紙

手紙 (導入)	<p>3年生の諸君、こんにちは。私はミスターQ。このクラスは元気に遊ぶことが大好きな子どもたちが集まったクラスだと聞いている。</p> <p>社会の授業では消防署に見学に行き、みんなの暮らしを守るための仕組みを勉強したそうだな。そこで今日は、救急車についてみんなで考えてみてほしい。</p> <p>これから、「きゅうきゅう車はなぜいそぐのか」について考えて欲しい!</p> <p>また、校庭で倒れてしまった友達がいたとき、みんながどのような行動をしたらいいのか、みんなで考えてみてくれ!健闘を祈る。</p> <p style="text-align: right;">ミスターQより</p>
手紙 (まとめ)	<p>優しく、そして勇敢な諸君。みんな一生懸命やっていたね。</p> <p>校庭で遊んでいるときに誰かが倒れたら、心の優しい君たちは「大丈夫?」と声を掛けるだろう!声を掛けても返事がないときは緊急事態である、急いで先生を呼びに行き、119番通報をしてもらおう!今日は、みんな頑張ったね!</p> <p>しかし、私からの指令はこれで終わりではない。来年もまた会おう!</p> <p style="text-align: right;">ミスターQより</p>

「きゅうきゅう車は なぜいそぐ？」



3年 くみ 名前 _____

1. こうていであそんでいたとき、友だちがたおれてしまいました。
つぎのような3つの場面がおこったとき、どうしますか？



ケース① たおれたあと、すぐにおきあがりました。
でも、手や足にすりきずがあります。



ケース② いたがっていて うごけません。
「いたい…。」「うごけないー。」と言っています。



ケース③ たおれたまま うごきません。「だいじょうぶ？」とよびかけても、
へんじがありません。

2. こうていで、ともだちがたおれてしまった時には、みんなの力がひとつようです。あなたは、どんなことをしたいとおもいますか？



3. きょうの学しゅうで、わかったことやかんそうを書きましょう。

